



いたわり

2011年2月号 No.121
〈おのこト救〉健康新聞

ママの会
ママの会
ママの会

第14回「**ママの会**」(子育て・母乳育児・子育て)
〈日時〉2月7日(月)午後1時半~3時
〈講師〉おなかた助産院 助産師 **賀久はつ先生**

第235回「**おのこト救王名店健康教室**」
〈日時〉2月24日(木)午後2時~3時
(※ ママの会、健康教室とも王名店2階健康教室にて)

「503」枕元健康法

私達は息もしたり、話したりするだけで常に空気中には細菌やウイルスがゴロの中や鼻の中に入ってきています。けれどマクロファージや好中球、いわゆる「白血球」という体中の兵隊さんがしっかり働いて退治してくれたら、体が細菌やウイルスによって病気になる事はありません。その兵隊さんが働く力の強さを「**免疫力**」というのです。インフルエンザの原因は主にインフルエンザウイルスとされています。ウイルスというのは細胞の中まで入り込んで増殖するので、ウイルスを殺すには細胞自体を殺さなくてはなりません。ですからウイルスを殺す薬はないのです(タミフルなどの抗ウイルス薬はウイルスを殺すのではなく、それ以上増えないようにブロックする薬です)



細胞の中まで入り込 だウイルスはなんと1日で100万倍になります! 100コ入ったら次の日には1億個に増えるのです。100コだけなら1000の**免疫力**。1億だったら1億の**免疫力**が必要です。

ちょっとどくときた時、何だかきつ〜くなったりした時が、今まさにウイルスが増えている最中です。その時が**免疫力を高める503が一番有効**タイミングです。ひどくなってから飲んで、も相当ウイルスが増えている状態なので、503も5本も10本も必要になります。しかしまだ増える前なら体で済む事も十分あります。実際に早めに飲んだので事なきを得たという話は店頭でしょっちゅう聞きます。その為に常にバックの中や、特に**枕元**には必ず1本は置いておいて、夜中や朝方、ちゅとあかしく!と思ふ時にいつでも飲むようにしておくと本当にひどくは済ませることができますヨ!



「BCE×503」
1本3150円

いのち輝く元気野菜のひみつ



上の虫食いだらけの白菜と下の青々とした虫に食われていない白菜はどちらが無農薬でしょうか? 普通は「虫食いの野菜」と答えると思います。実は、両方とも「無農薬野菜」なのです! 「虫食い」という事は、それだけその野菜がおいしいということ、多くの人がどう認識していると思います。無農薬野菜については、たくさん虫食いのあとは、農薬を使っていない安全の証拠であり、おいしいの証明であると! しかし、そうではないのです。
本当に生命にあふれた元気野菜には虫はあまり寄りつきません。同じ野菜の中からは不健康で元気がない野菜に虫は好んで寄りつきます。「11区」は3日前の刺身と今日買ったばかりの新鮮な刺身とどちらにたかろでしょうか? 言うまでもなくちゅと腐敗臭のする3日前の刺身にたかろはオオデス。人間からすれば、おいしい新鮮でないほうにたかろ。虫はそういう習性を持っているのです。

健康・不健康野菜の根本原因は「土」にあります。「土」で野菜の**根**が決まり「健康」が決まるのです。未熟なたい肥や化学肥料の入った土で育てた野菜は生命力の弱い不健康野菜になってしまいます。そうした野菜にはおもしろいように病害虫がつくのです。そんな不健康野菜でも農薬を使えば、何とか育ちます。しかし農薬を使った土は、増々土の中の微生物が少なくなり生命力が弱くなっていきます。昔の人は家畜や人の糞尿、草や生ゴミなど土から生まれたものを土に還していました。これらの有機物は、土に住む微生物の命の糧となります。そしてその微生物から次の微生物に命をバトン、つなぐから次第に土は浄化され、命のついでに土に変わっていくのです。元気な土の1g中にはなんと**10億以上の微生物**がいます。その微生物が土の中のミネラル類をとかして吸収し、いろいろなビタミンや栄養素を付けて根に養います。結果、**生命力の強い、元気の健康野菜へと育つ**のです。

トトでは、去年の夏から、佐世保の「元気農園」で無農薬野菜に「**クローラの農業用たい肥**」を使ってもらって「**クローラ元気野菜**」を作ってもらっています。クローラを土に入れると土の中の微生物が**1億倍に増え**、それぞれが生き生きと働き野菜のびげ根が成長して、より元気の栄養価の高い**完全無農薬の健康野菜**ができてくるのです。特にびっくりするのは**クローラ人参**です。そのままジュースにすると砂糖も入れていないのに驚く程の甘さとコクがあります。ジブ味やニガ味が一切ない後味もスッキリとして非常においしいのです。又、一週間たってもしおれていない!ほとんど虫食いのあとがない**葉物野菜**を見ていると本当にこの野菜は元気がなんだとわかります。野菜そのものに**生命・抵抗力**があれば虫に食われない! というのが一目瞭然です。私達人間も化学肥料(食品添加物)や農薬(処方薬)を入れていたら、やはり弱っていくでしょう。化学的のものではなく、入れろ**クローラバイオング**を食へること、元気に、健康な体になろう!



「大地の11区」代表
吉田俊道さん

